

事務事業名	7689 河川将来像事業													
担当組織	都市整備部						道路河川課				担当	河川担当		
組織コード	H29	20	09	00	会計・款・項・目・大事業・中事業	H29	01	08	03	01	02	02	記入日	平成29年06月06日
	H28	20	09	00		H28	01	08	03	01	02	02		

1. 事務事業の概要

総合振興計画上の位置づけ													実施計画候補
基本目標	04	緑と潤いのあるまち										● 対象  ○ 対象外	
分野	02	公園・水辺											
施策	41	水辺環境の整備											
事業期間	平成8年度～平成32年度												
根拠法令 通達等							関連計画 施政方針	笹目川とことん活用連絡会（準備会） 荒川クリーンエイド					
事業区分	<input type="radio"/> 法定受託事務 <input type="radio"/> 自治事務のうち義務的なもの      ● 自治事務のうち任意のもの												
ISO14001	<input type="radio"/> 1. 環境創出事業 <input type="radio"/> 2. 施設方針書 <input type="radio"/> 3. 環境配慮事業      ● 4. 対象外												
対象	市民												
事業目的	水辺に親しめるより良い河川環境にしていくため、市民、関係団体、国、県、市が連携し、継続的に川を利用するイベントや清掃活動を開催していく。これらの活動を通じ、河川への愛着や興味関心が生まれ、更に河川の環境美化意識が深まり、より良い河川環境を創出することを目的とする。												
事業内容	笹目川とことん活用連絡会（準備会）、荒川クリーンエイドについては、市民、関係団体、行政との協働事業であり、イベント開催や清掃活動などを支援していく。												
実施主体	<input type="checkbox"/> 市による単独直営 <input type="checkbox"/> 委託（ <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 市民・NPO）      ■ 協働・協力（市民、団体等）												

2. 実施結果

事業の 予算・実績	事業内容		平成28年度 執行額（千円）	平成29年度 予算額（千円）	平成30年度 計画額（千円）	平成31年度 計画額（千円）	平成32年度 計画額（千円）	
	事業費		752	852	852	852	852	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		起債	0	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	0	
	一般財源		752	852	852	852	852	
	人件費		4,999.77	4,999.77	4,999.77	4,999.77	4,999.77	
	投入 人員	常勤職員	0.73人	0.73人	0.73人	0.73人	0.73人	
		非常勤職員	0人	0人	0人	0人	0人	
事業費+人件費		5,752	5,852	5,852	5,852	5,852		
目標達成 状況	指標名		単位	説明・算定式		H27目標 H27実績	H28目標 H28実績	H29目標 H29実績
	活動①	笹目川及び荒川でのイベント等の開催回数	回	笹目川とことん活用連絡会、荒川クリーンエイド		2 2	2 3	2 -
	活動②							-
	成果①	笹目川及び荒川でのイベント等の参加者数	人	笹目川とことん活用連絡会、荒川クリーンエイド		100 96	500 230	500 -
	成果②							-
目標達成 状況 の分析	B：活動・成果のいずれかを達成した。 <判断理由> 笹目川におけるイベントの内、舟下りをメインとするイベントは開催したものの、局所的な豪雨が続いたため、途中で打ち切りとなってしまい、目標人数を大幅に下回ってしまった。荒川クリーンエイドについては、天候にも恵まれ、多くの市民が参加することができた。							

## 3. 評価結果

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか。
	26年度	27年度	28年度	A：施策の目標達成に大いに貢献している。
	B	A	A	<判断理由> 河川の利活用・維持管理を推進していく、笹目川とことん活用連絡会や荒川クリーンエイドの活動については、市民や関係団体と連携しながら取り組んでいるものであり、一般の市民が多く参加している点など、施策の目標達成に貢献している。
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か。
	26年度	27年度	28年度	A：経費の精査が十分になされている。
	B	A	A	<判断理由> 河川の利活用・維持管理を推進していく、笹目川とことん活用連絡会や荒川クリーンエイドの活動については、市民や関係団体と連携しながら取り組んでいるものであり、経費は殆ど生じていないことから、経費は適正である。
事業手法	評価結果			事業手法は適正か。
	26年度	27年度	28年度	A：事業手法は工夫され、非常に効率的・効果的である。
	B	A	A	<判断理由> 河川の利活用・維持管理を推進していく、笹目川とことん活用連絡会や荒川クリーンエイドの活動については、市民や関係団体と連携しながら取り組んでいるものであり、ワークショップなどにより、方針を決定したり、イベントの企画などを行っており、事業手法は適正である。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	26年度	27年度	28年度	B：受益・負担は適正な範囲である。
	B	B	B	<判断理由> 河川の利活用・維持管理を推進していく、笹目川とことん活用連絡会や荒川クリーンエイドの活動については、市民や関係団体と連携しながら取り組んでいるものであり、また、イベント等には、一般の市民が参加できる点など、受益・負担については公平である。

## 4. 平成28年度中に実施した見直し内容

見直し内容	特になし
見直しの効果	特になし

## 5. 今後の方針

事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> 1現状で継続 <input type="radio"/> 2拡大して継続 <input type="radio"/> 3縮小して継続 <input type="radio"/> 4他事業と統合 <input type="radio"/> 5休止 <input type="radio"/> 6その他見直し <input type="radio"/> 平成30年度で終了 <input type="radio"/> 平成29年度で終了 <input type="radio"/> 平成28年度で終了
	<判断理由> 笹目川とことん活用準備会においては、舟下りをメインとするイベントや楽しみながら清掃を行うイベントなどを、市民や関係団体と連携しながら、企画・準備・開催することができ、川の再生に一歩ずつ近づいているところである。また、荒川クリーンエイドも関係団体との共同開催で実施するなど、上記同様に、良好な水辺環境を創出・維持するために、継続的に取り組んでいく必要があることから、現状のまま継続していく。
今後の取組方針	笹目川の更なる再生を目指し、平成27年度から市民や関係団体などと連携しながら進めてきた笹目川とことん活用準備会の活動については、イベント開催など、徐々に取組み成果が出始めている。より活発であり、継続的な活動を進めていくため、平成29年度からは、笹目川とことん活用連絡会として、新たに活動をスタートさせる。

事務事業名	21234 水路維持管理費													
担当組織	都市整備部						道路河川課			担当	河川担当			
組織コード	H29	20	09	00	会計・款・項・目・大事業・中事業	H29	01	08	03	01	05	01	記入日	平成29年06月06日
	H28	20	09	00		H28	01	08	03	01	05	01		

1. 事務事業の概要

総合振興計画上の位置づけ													実施計画候補
基本目標	04	緑と潤いのあるまち										● 対象  ○ 対象外	
分野	02	公園・水辺											
施策	41	水辺環境の整備											
事業期間	平成17年度～平成32年度												
根拠法令 通達等							関連計画 施政方針	戸田市第2次都市マスタープラン 清流ルネッサンスⅡ(第二期水環境改善緊急行動計画)					
事業区分	<input type="radio"/> 法定受託事務 <input type="radio"/> 自治事務のうち義務的なもの      ● 自治事務のうち任意のもの												
ISO14001	<input type="radio"/> 1. 環境創出事業 <input type="radio"/> 2. 施設方針書 <input type="radio"/> 3. 環境配慮事業      ● 4. 対象外												
対象	市民												
事業目的	市内を流れる水路について、水質改善や水辺環境の保全により、市民が水の恵みを感じながら生活できるような水辺環境を創出し、また、水路の流下機能を確保すると共に、歩行空間としての利用も図られるよう、常に水路を健全な状態に維持することを目的とする。												
事業内容	水質改善の取組みとして、上戸田川浄化施設を稼働させるほか、清流ルネッサンスⅡ事業終了後の浄化施設や導水事業による水質改善の状況を把握するため、定期的な水質調査を実施する。 市内の水路については、水路の流下機能を確保すると共に、歩行空間としての利用も図られるよう、定期的な維持管理業務や計画的な修繕を実施し、常に健全な状態とする。												
実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市による単独直営 <input type="checkbox"/> 委託 ( <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 市民・NPO ) <input type="checkbox"/> 協働・協力 ( )												

2. 実施結果

事業の 予算・実績	事業内容		平成28年度 執行額(千円)	平成29年度 予算額(千円)	平成30年度 計画額(千円)	平成31年度 計画額(千円)	平成32年度 計画額(千円)	
	事業費		20,643	28,109	28,108	28,108	28,108	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		起債	0	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	0	
	一般財源		20,643	28,109	28,108	28,108	28,108	
	人件費		3,219.03	3,219.03	3,219.03	3,219.03	3,219.03	
	投入 人員	常勤職員	0.47人	0.47人	0.47人	0.47人	0.47人	
		非常勤職員	0人	0人	0人	0人	0人	
事業費+人件費		23,862	31,328	31,327	31,327	31,327		
目標達成 状況	指標名		単位	説明・算定式		H27目標 H27実績	H28目標 H28実績	H29目標 H29実績
	活動①	清流ルネッサンスⅡ水質調査	回	年間調査回数		12	12	12
	活動②					12	12	-
	成果①	清流ルネッサンスⅡ水質改善	mg/l	BOD:生物化学的酸素要求量(沖内第3人道橋)		5	5	5
	成果②					2.7	3	-
目標達成 状況 の分析	A: 活動・成果ともに達成した。 <判断理由> 清流ルネッサンスⅡに基づく水質改善については、水質目標値を達成することができた。							

## 3. 評価結果

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか。
	26年度	27年度	28年度	B：施策の目標達成に貢献している。
	B	B	B	<判断理由> 上戸田川浄化施設や荒川からの浄化導水の稼働により、水質改善については、目標を達成している。また、水路の維持管理としては、定期的な除草や計画的な修繕を実施しており、施策の目標達成に貢献している。
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か。
	26年度	27年度	28年度	B：経費は適正な範囲である。
	B	B	B	<判断理由> 荒川からの浄化導水については、稼働に係る経費（電気代、操作員代等）を荒川下流河川事務所が負担している。水路の管理業務や修繕については、県の設計基準や単価、見積書に基づき、適切に積算を実施し、競争入札や見積合せにより、業者決定しており、経費は適正である。
事業手法	評価結果			事業手法は適正か。
	26年度	27年度	28年度	B：事業手法は適正な内容である。
	B	B	B	<判断理由> 水路の管理業務や修繕については、専門的な内容が多くあることから、業者に委託するなどしているが、市民サービスの質を低下させることなく、実施できていることから、事業手法は適正である。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	26年度	27年度	28年度	B：受益・負担は適正な範囲である。
	B	B	B	<判断理由> 水質改善に係る取組みの実施などにより、市民が良好な水辺環境のもと生活ができるようになり、受益・負担は公平である。

## 4. 平成28年度中に実施した見直し内容

見直し内容	特になし
見直しの効果	特になし

## 5. 今後の方針

事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> 1 現状で継続 <input type="radio"/> 2 拡大して継続 <input type="radio"/> 3 縮小して継続 <input type="radio"/> 4 他事業と統合 <input type="radio"/> 5 休止 <input type="radio"/> 6 その他見直し <input type="radio"/> 平成30年度で終了 <input type="radio"/> 平成29年度で終了 <input type="radio"/> 平成28年度で終了
	<判断理由> 水質改善の取組み効果としては、清流ルネッサンスⅡの水質目標値を達成できているが、この目標の達成のためには、下水道整備や浄化槽の適正な維持管理のほか、水質浄化に係るそれぞれの取組みが必要であることから、現状のまま継続していく。
今後の取組方針	市内を流れる笹目川・菖蒲川・上戸田川の更なる水質改善が図られるよう、今後も引続き、上戸田川浄化施設や浄化導水の稼働し、水質状況の把握に努めていく。しかしながら、荒川の浄化導水の稼働日数は縮減方向にあることから、荒川下流河川事務所とは引き続き協議していく。